クサカゲロウ

●クサカゲロウの成虫は、透き通った緑色の翅が綺麗ですが、夜行性です。成虫も肉食ですが、特に幼虫の時にアブラムシ、カイガラムシ、ハダニを食べてくれます。

●幼虫に来てもらうためには成虫に卵を産んでもらわなければならないので、成虫を見たら大切にしましょう。クサカゲロウの卵は、葉っぱから垂れる糸の先に米粒がついている様な形で、その見た目から三千年に一度咲くと言われる想像上の花になぞらえて「うどんげの花」と呼ばれます。

●クサカゲロウの幼虫は、背中にごみを背負うタイプと何も載せないタイプがいます。背負うタイプは自分の食べたアブラムシの殻などの残骸を背中に載せて、天敵から身を守るためにカムフラージュしているのだそうです。

クサカゲロウ成虫

クサカゲロウの卵
（うどんげの花）

ハナアブ

●ハナアブは、たくさんの種類がいますが、その中で特に益虫として優秀なのがヒラタアブです。ヒラタアブの幼虫はアブラムシを食べてくれます。

●生まれたばかりの幼虫はスケルトン上のイモムシでウジ虫に似ています。だんだん緑や茶色が濃くなって、とげとげが出てきます。健康な草花にウジ虫がつくことはないので、ウジ虫の様な幼虫がいるときはヒラタアブの幼虫のことが多いので駆除しないようにしましょう。

●成虫は蜂の様な黄色と黒のストライプ柄ですが、人間を刺すことはなく、花粉を食べて受粉を助けてくれます。蜂との見分け方は、目が大きくて顔の2/3が目です。

ヒラタアブ